

# 一般質問

# 筑紫野市政の ここが知りたい!!

3月定例会の一般質問では、13人の議員が27題目にわたり質問しました。  
質問答弁の内容については議員本人が要約しています。

## 質問項目一覧

QRコードをスマートフォンなどで読み取ると録画中継が見られます。

### ■ 西村 和子 議員

P.17

- ①防災の推進について
- ②脱炭素化カーボンニュートラルに向けて

### ■ 古賀 新悟 議員

P.17

- ①防災対策強化について
- ②人権尊重のまちづくりについて

### ■ 楢木 孝一 議員

P.18

- ①防災対策について
- ②職員の地域貢献活動休暇制度について

### ■ 段下 季一郎 議員

P.18

- ①地震対策について
- ②障がい児・障がい者福祉の充実について
- ③AEDの設置促進について

### ■ 佐々木 忠孝 議員

P.19

- ①JR原田駅前ロータリーの渋滞対策について

### ■ 赤司 祥一 議員

P.19

- ①小学校のトイレ清掃について

### ■ 白石 卓也 議員

P.19

- ①働き方改革・いわゆる2024年問題の対応について

### ■ 春口 茜 議員

P.20

- ①観光振興とDX推進について
- ②起業支援について

### ■ 吉村 陽一 議員

P.20

- ①大雨による水害対策について
- ②筑紫野市部落差別の解消の推進に関する条例について

### ■ 前田 倫宏 議員

P.21

- ①災害時におけるトイレについて
- ②こどもの療育について
- ③筑紫野市文化会館について

### ■ 山本 加奈子 議員

P.21

- ①障がいのある方への投票(選挙)支援について
- ②不登校児童生徒・保護者への支援について

### ■ 辻本 美恵子 議員

P.22

- ①地域共生の実現に向けて
- ②健康づくりについて

### ■ 田中 允 議員

P.22

- ①筑紫東小学校への学校選択制の拡充について
- ②学校部活動の取り組みについて
- ③市営住宅の改修改善等について
- ④施政方針について

## 会派

つくし野 → つくし野  
市民会議 → 市民会議

写真下の( )は  
所属会派

公明党 → 公明党筑紫野市議団  
(-) → 会派に所属しない議員



西村 和子  
(市民会議)

2050

**問** 簡易包装による資源の有効活用とごみ減量は、全庁的にとどのように進められているのか。

**問** カーボンニュートラルに向けて市民の意識向上のために環境フェアを更に充実すべきと考えるが。

### 簡易包装とごみ減量

**答** さらに充実した取組を推進していく



**問** 市一斉に行政区ごとの避難訓練を実施すべきではないか。



避難訓練での炊き出し

**答** 現在、地域では様々な防災訓練が実施されている。市としては、地域における様々な取組を継続して支援することとしているので、現時点では実施する予定はない。



令和元年の環境フェア

### 市一斉の避難訓練

**問** 避難は、命を守る大変重要行動である。

**答** 様々な取組に尽力されているので、市としては、それらの支援を継続していく。

**問** 各コミュニティや行政区で実施されている防災の取組の課題を解決する方向性は。



古賀 新悟  
(一)

人権尊重

### パートナーシップ宣誓制度を

**答** 趣旨目的を踏まえ、環境づくりを推進



**問** 日本は性教育が極めて不十分。包括的性教育は、尊厳をもって生きていることすべてにかかわるものという考え方に基づくもの。本市でも、包括的性教育を推進すべきでは。

**答** 児童生徒が性に関して正しく理解するとともに、生命と一人ひとりの人権を尊重する態度などを発達段階に応じた身に付けることができるよう、取り組んできている。文部科学省が子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないことを目指し「生命の安全教育」と推進している

ことを踏まえ、児童生徒が自他を尊重し、心身ともに健康に生きていくために必要な取組を引き続き進めていく。

**再問** パートナーシップ宣誓制度の導入は、筑紫野市の高度な施政であるとともに国に対する啓発と考える。市長の見解は。



**市長** 筑紫野市は一人ひとりが個性を尊重され、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指している。パートナーシップ宣誓制度についても、その趣旨・目的を踏まえ、性の多様性を認め合い、性的指向や性自認にかかわらず、人生を共にしたい人と安心して生活することができ環境づくりを推進していく。



**答** 福岡県パートナーシップ宣誓制度を活用するとともに、性の多様性について正しい理解と認識を深め、性的指向や性自認にかかわらず、安心して生活できるような行政サービスを提供している。本制度の趣旨・目的を踏まえ、性的指向や性自認にかかわらず、人生を共にしたい人と安心して生活できる環境づくりを推進していくうえで、本市のパートナーシップ宣誓制度導入について

# 防災対策



榎木 孝一  
(つくし野)

## 旅館等二次避難所を 開設すべき

答 制約される場合もあり  
課題を整理する



**問** 大地震に備え、家庭での備蓄呼びかけを子どもや高齢者向けなどもっと細かく分け、かつ事業所等にも行うべき。

**答** 家庭での備蓄の啓発は広報紙や出前講座などを通して行っている。より分かりやすい周知に努めるとともに、事業所等へも啓発していく。

**問** 高齢者等のために旅館やホテルを二次避難所として開設すべき。

**答** 被害状況によっては制約される場合があるので、様々な課題を整理する。災害救助法が適用される場合は、応急仮設住宅などの提供を県と協力連携し進める。

**問** 避難所ではどのような方法で感染症の調査・評価を行うのか。

関係機関がどのように連携し活動するのか。

**答** 新型コロナウイルス感染症対応版の避難所運営マニュアルに則り、感染症対応を行う。緊急を要する場合や避難生活が長引く場合は、市、筑紫保健福祉環境事務所や筑紫医師会等と連携した対応を行う。



**問** 救助対象者の絞り込みのため、安否不明者情報を公表すべき。

**答** 県の災害時における人的被害の公表要領に則り、適切な対応が行えるよう努める。

**問** 大災害時、り災証明書を発行する調査員の不足が予測される。

何人の調査員が必要なのか。不足する場合は。

**答** 具体的な調査員の必要人数を想定することは困難。市職員のみで調査が困難な場合は、他自治体からの応援を要請する。

## 職員地域貢献活動 休暇制度の取組は

**問** 市職員も自治会やNPO等での活動が期待される。地域貢献活動休暇を創設すべき。

**答** 制度化の予定はないが、休暇対象となる活動内容や取得できる期間等、調査研究に努めるとともに、国や県、近隣自治体の動向を注視していく。



# 人命救助



段下 季一郎  
(市民会議)

## 小中学校の校門に AED設置を

答 有効活用できる方策を検討する



**問** 24時間365日使えるように小中学校の屋外にもAEDを設置するべきでは。

**答** 本市の各小中学校には、校舎内及び体育館内に1台ずつ設置されている。現在、体育館に設置しているAEDは、屋外での活用も想定しているが、体育館開放時のみに限定される。緊急時の対応として、どのような時でも有効活用できる方策を検討する。

## ユニバーサルシート 設置促進を

**問** ユニバーサルシートとは、主に多目的トイレ内に設置され、障がいのある方のおむつ交換等に利用されるほか、高齢者や子ども連れの方など多目的に利用できる。公共施設のトイレに設置を促進するべきでは。

**答** 「市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設のユニバーサルシートに設置を促進するべきでは。



## 感震ブレイカーの 周知啓発を

**問** 感震ブレイカーとは、地震の強い揺れを感じて、電気を自動

的に遮断する機器。一般的なコンセントタイプは5千円程度。感震ブレイカーの周知啓発をすべきでは。

**答** 地震発生時の火災発生を予防する手段として有効であることから、市としても今後の周知啓発に努めていきたいと考えている。

**問** 移動式のユニバーサルシートとテントを活用するべきでは。

**答** より多くの人がイベント等に参加できるように配慮することは、社会参加を促進する観点から重要なことと考えるので、既存の備品等を活用し導入を検討するとともに、庁内においても広めていきたいと考えている。



ユニバーサルシート

## 原田駅前ロータリーの 渋滞対策

答 関連機関と協議を

継続しつつ



佐々木 忠孝 (-)

## JR原田駅

現在、駐車スペースを含めた駅前ロータリー全般の利便性の向上や安全性の確保について、警察や鉄道管理者と協議を行っているので、継続して進めていく。

問 JR原田駅前ロータリーは、平日の帰宅時間帯において、送迎車両による渋滞が慢性化しているため、20年以上閉鎖されたロータリー内の駐車スペース等を活用できないか、市の見解を伺う。

答 JR原田駅前の駐車スペースについては、駅前広場に必要とする家用車の一時駐車スペースとして設けていたが、長時間にわたる駐車により一時利用が妨げられたことから、今日に至るまで閉鎖している状況である。

答 様々な要因により学校でトイレを我慢する児童がいることは、学校からの情報提供等により把握しているため、トイレ利用の実態調査は考えていない。トイレを我慢することは、健康に大きな影響を及ぼすことなどから、今後も排せつの大切さを学校で教育していくことが、最も重要であると考えている。



JR原田駅前ロータリー

## トイレ清掃の一部を 委託すべき

答 学校と協議の上、検討していきたい

いきたい



赤司 祥一 (つくし野)

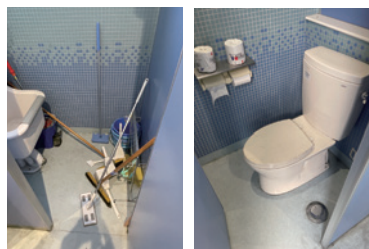
## 小学校清掃

問 小学校のトイレが汚いと感じ我慢する児童がいる現状を把握しているか。実態調査を実施すべきでは。

答 学校現場を確認し、児童のトイレ掃除だけでは不十分であるなどの要因で衛生環境に課題があれば、トイレ掃除の一部外部委託について、学校と協議し検討していきたいと考えている。

問 便器洋式化及び床

答 様々な要因により学校でトイレを我慢する児童がいることは、学校からの情報提供等により把握しているため、トイレ利用の実態調査は考えていない。トイレを我慢することは、健康に大きな影響を及ぼすことなどから、今後も排せつの大切さを学校で教育していくことが、最も重要であると考えている。



市内小学校トイレ

## 貨物運送事業者の 支援は

答 今後も国や県の動向を

注視する



白石 卓也 (市民会議)

## 対策推進を

問 2024年問題は、4月以降トラックドライバーの時間外労働の上限規制により、

- ①企業の仕組み改善の必要性
- ②ドライバーの収入減少
- ③ドライバー不足
- ④荷主の運賃上昇などの課題が懸念されている。各事業者の対応状況は。

答 関係団体である公益社団法人全日本トラック協会は、持続可能な物流の実現に向けた検討会を開催し、様々な取り組みをまとめている。国は、経済産業省、農林水産省、国土

交通省が連名で「物流の適正化・生産性向上に向けた荷主事業者・物流事業者の取組に関するガイドライン」を策定するなど、この問題に向けての対応をされている。

問 人材確保や雇用促進に繋げるための取り組みを施策化しては。

答 トラック事業者などを対象に運送事業者等支援事業など各種支援事業を令和3年度から本年度まで市独自事業として実施している。貨物運送事業者の人材確保や雇用促進支援について今後も国や県の動向を注視していく。





春口 茜  
(市民会議)

# 観光振興

## 「紫プロジェクト」 拡大を

答 商工会へ今後も継続して活動を支援していく



問 市のブランド確立と紫プロジェクトの拡大をすべきでは。

答 筑紫野市を盛り上げていくため、ブランドを確立し、多方面にPRしていく必要があると考える。また、紫プロジェクトの拡大について、筑紫野市商工会が紫をキーワードとして地域の活性化を図るための様々な取り組みを「紫プロジェクト」として平成19年度から実施し、市もその活動を支援してきた。

昨年度は、「紫を通じて地域ブランドデザインの向上による看板商品創出プロジェクト」が実施され、開発された商品の一部は本年度の観月会でも紹介、販売されるなど活動が広がっている。今後とも継続して支援していく。

問 福岡、太宰府と連携した観光ルートの考

案とスタンプリリーの活用をしては。

答 近隣自治体との連携は重要であり、今後様々な機会を捉えて観光振興策やプロモーションを展開し、その中で検討する。



2/27紫プロジェクトテレビ放映

## 起業支援を

問 市在住の女性と若者の起業支援（スマートフォンビジネス、スタートアップ）を推進すべきと考えるが見解は。

答 本市独自の創業支援事業として「筑紫野市空き店舗利用促進事

業補助金制度」を平成22年度から実施。以降38件の申請を受けたが、特に令和に入ってから申請9件のうち、5件が女性や若い世代の事業主による起業だった。また、人権政策・男女共同参画課主催による「女性のための起業&経営応援セミナー」の実施や、商工会が主催して市も支援している「筑紫野創業塾」では令和4年度に78件、令和5年度の現時点で28件の方々が受講。起業支援については、継続して推進するとともに国、県、他自治体の事例を注視しながら、女性や若者に届きやすい周知に努めていきたいと考えている。



吉村 陽一  
(市民会議)

# 人権尊重

## 部落差別解消推進 条例の推進の具体化

答 相談体制の充実と教育・啓発に努める



問 インターネットの普及など情報化の進展に伴い、新たな差別情報の拡散という深刻な課題もあるが、部落差別の解消の推進に関する条例に相談体制の充実とあるが充実は図られているか。

答 差別的な問い合わせに係る相談については全ての部署において全職員が日頃から同和問題をはじめとする人権問題全般に関心を持ち、自ら研鑽に努めている。今後も、差別的な問い合わせについては、貴重な啓発の機会ととらえ、適切な対応ができるよう努めていく。

問 条例に必要な教育と啓発を行うとあるが、どのように行っているのか。

答 市内全小中学校で

の教育にあたって、部落差別に対する正しい認識をもった児童生徒の育成を図るため「社会科学習カリキュラム」を策定し、これを活用した授業実践を行うことにより人権・同和教育の推進を図っている。



## 水害対策

問 田んぼや土で覆われた地面はアスファルトやコンクリートに変わり、雨水が局所的に集まり、洪水や内水氾濫を引き起こしている。大雨による雨水分散のため雨水貯留浸透施設整備事業補助金を検討してはどうか。

答 現在3万円を限度額として購入価格の2分の1を交付しているが、今後の補助申請件数及び近隣自治体の状況を見ながら検討する。



答 補助制度を導入している自治体は、福岡県内でも少なく、制度利用者もわずかと聞いているので、事業の効果等を含めて今後の研究課題とさせていただきます。

問 雨水貯留タンク購入補助事業は雨水の流出抑制にも繋がるため補助金の増額を検討してはどうか。

答 現在3万円を限度額として購入価格の2分の1を交付しているが、今後の補助申請件数及び近隣自治体の状況を見ながら検討する。

# 文化会館



前田 倫宏  
(つくし野)

## 昇降機の設置や トイレの改修を

大規模改修等の際に  
実施したいと考える



問 文化会館は、間もなく40周年を迎える。筑紫地区5市で同様の施設を調べたところ、本市のみエレベーター等がない状況。ユニバーサルデザインの観点から、エレベーター等の設置が必要と考えるが、見解は。

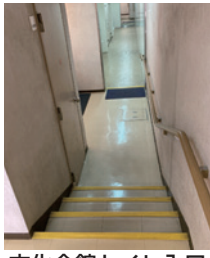
と考えている。

答 子育て中の方々が安心して施設を利用できるよう「赤ちゃんの駅」や「託児サービス」の専用の場所を設けるべきと考えるが、見解は。

問 子育て中の方々が安心して施設を利用できるよう「赤ちゃんの駅」や「託児サービス」の専用の場所を設けるべきと考えるが、見解は。

答 筑紫野市文化会館のユニバーサルデザイン化の必要性は認識しており、今後も進めていくが、構造上の課題などがあり、施設の大規模改修等の際に併せて実施していきたいと考えている。

答 当面は現在の運用を継続し、より利用しやすくなるようにサービスの向上に努め、新設は、施設の大規模改修等の際に検討したいと考えている。



文化会館トイレ入口

問 トイレへの段差の解消と一般トイレ及びオストメイトや乳幼児にも対応できる多機能トイレの改修が必要と考えるが、見解は。

答 今後可能な改修等は実施していきたい

## こどもの療育相談

問 相談件数は増加傾向で、2ヶ月以上の待ち状況。療育には、早期の発見が重要で、迅速かつ適切に



速かつ適切に

答 令和6年度からは相談員1名を増員して4名体制とし、相談員体制の拡充を図る予定としている。電話による相談は随時受けているが、面談対応はご指摘のとおり待ち期間を2ヶ月以上頂くこともあるので、今後は1ヶ月程度となるよう取り組みなど、引き続き、発達に気になる子どもへの相談支援体制の充実に努めていく。

# 投票支援



山本 加奈子  
(公明党)

## 投票支援カード等の 導入を

今後、導入について検討  
していきたい



問 障がいのある方が選挙で投票所の緊張感のある雰囲気になじめず投票できずに帰ってこられたと伺った。投票(選挙)支援カードや、困りごとを絵や文字で表示したコミュニケーションボードの導入ができないか。

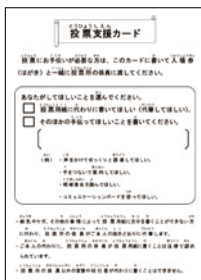
答 障がいのある方がどのような手助けを求めているのか伝えやすい環境の醸成と併せて、代理投票制度等の更なる周知に寄与する手段であることから、今後導入について検討していきたいと考えている。

問 高松市は新学習指導要領に準拠したアプリを導入し、ICTを活用した学習支援システムを無料で提供。小学1年から中学3年迄の教科で、つまづいた所から学び直すこともできる。学びの機会確保に向け、見解を伺う。

答 現時点で導入の計画はないが、不登校児童生徒を含めた全ての児童生徒の個別最適な学びを支援するデジタル教材等の導入の調査研究を進めている。

再問 つくし学級の広さから人数に限りがある。大野城市が24年度からフリースクールに通う授業料等の2分の1月額1万円を上限に補助する方針を発表した。経済的な理由で諦めなくてもよい環境整備が必要では。

答 現時点で予定はないが、全国でいくつかの自治体で支援の取組が進められている。動向を注視するとともに、今後の研究課題とさせていただきます。



## 不登校児童生徒・ 保護者への支援

問 低学年だと置いて行けず仕事に行けない等、日中の居場所としても重要。教育支援センター等として「つくし学級」を開設しているが、現状と課題は。



再問 つくし学級の広さから人数に限りがある。大野城市が24年度からフリースクールに通う授業料等の2分の1月額1万円を上限に補助する方針を発表した。経済的な理由で諦めなくてもよい環境整備が必要では。

# 地域共生



辻本 美恵子  
(市民会議)

## 地域共生社会担当が 必要では 必要に 必要に 必要に

答 事業の進捗状況を見て  
必要に  
必要に  
必要に



問 地域共生社会の実現には地域包括ケアシステムの構築が必須。現在どのような状況か。

答 これまで高齢者支援を主眼に置き、地域包括ケアシステム構築を進めてきた。生活支援ではコミュニティ運営協議会の圏域を第2層と捉え、地域での会議などで協議を行っている。

再問 生活支援の構想と第2層協議体の形を明確にするべきでは。

再答 来年度、生活支援コーディネーターを増員し地域の実情に合った生活支援体制の整備に努めていく。コミュニティ運営協議会の圏域を第2層と捉え、整備にあたっては、しっかりと連携し、取り組んでいく。

問 基幹型の地域包括

支援センターを設置すべきではないか。

答 基幹型地域包括支援センターは、役割が中核的な位置づけであるため、業務の多様性、困難性など、高齢者の増加に伴う実情に応じた調査研究していきたいと考えている。



問 地域共生社会を地域福祉計画に位置づける必要があるのか。

再答 地域共生社会に関する部署については事業の進捗状況を見ながら、必要が生じた場合は検討していく。専門職の配置については、今後事業化を進めるに当たり、併せて検討していく。

再問 「地域共生社会」という言葉でよくわかる必要があるのか。また、社協の体制が重要になると思うが、市と社協にどのような専門職が必要か検討すべきではないか。

答 地域共生社会の実現という基本理念のもと、総合計画、分野別計画と整合性を図る必要がある。重層的支援体制整備事業を次期計画に位置付けるとともに、多機関協働の場や参加支援等の整備を進めていきたい。

# JT跡地



田中 允  
(一)

## 市民へのアンケートを 実施しては 実施しては

答 限られた期間で協議を行うため困難である



問 新庁舎の建設に際しては、九州森永乳業跡地の取得に約10億円、建築工事に約59億円という高額な予算を投じたが、この原動力となったのは市民の声である。

平成23年11月に行った市庁舎に関するアンケートでは、73.1%の市民が建設に賛成であり、その後押しがあったことで市庁舎建設を円滑に進めることができたと思う。

近年の地価高騰の状況を踏まえると、庁舎建設を大きく上回る予算が必要になると思われる。それゆえ、市民の声や意見を聞く必要があるのではないかと考える。

用地の取得に当たり、想定されるメリットやデメリットを示すべきではないか。

答 想定されるメリットとしては、将来的な都市機能の集約化や公共施設の老朽化対策、新たな公共施設の整備の検討など、行政主導で土地利用が図れることである。

また、デメリットとしては、現時点で土地利用計画やそれに伴う財政負担の詳細を示すことができないことが挙げられる。

用地取得に向けて協議を始めた段階であり、まずは、価格や条件等の詳細について協議、交渉を行ってまいりたいと考えている。

再問 市庁舎移転、新築等に関しては、森永跡地の土地購入費も含め約70億円であった。今回、JT跡地の購入費が、20年もかけて検討してきた市庁舎建設と同じような金額で

ある。これをわずか半年ほど決めなければならぬのは早計ではないか。市民へのアンケート調査を再度取り上げることができないか。

市長 極めて限られた期間で協議を行う必要があり、アンケート調査の実施は困難である。用地取得に際しては、将来世代への負担を強いることのないよう、本市の財政状況に十分留意し法令にのっとり適正に判断してまいりたいと考えている。



JT九州工場跡地

# 筑紫野市議会



## 議会報告会

第15回

### 議会って何をしているの？

そんな疑問にお答えするため、  
筑紫野市議会の活動を皆様にご報告する議会報告会と、  
皆様からの声を議会活動に反映させるための意見交換会を開催します。  
たくさんのご意見をお聞かせください！

意

見

交

換

会

令和6年5月15日(水) 14:00~16:00

- ・筑紫南コミュニティセンター 視聴覚室 1班
- ・山口コミュニティセンター 学習室 1・2 3班

令和6年5月15日(水) 19:00~21:00

- ・筑紫コミュニティセンター 学習室 1・2 1班
- ・二日市東コミュニティセンター 視聴覚室 2班

令和6年5月19日(日) 14:00~16:00

- ・二日市コミュニティセンター 大研修室 1班
- ・御笠コミュニティセンター 視聴覚室 2班
- ・山家コミュニティセンター 学習室 1・2 3班

受付は開始15分前からです。事前の予約はいりません。

### プログラム

- ①議会からの報告 ②意見交換会

### 議員の構成

- 1班：辻本美恵子、山本加奈子、古賀新悟、段下季一郎、榎木孝一、佐々木忠孝、吉村陽一  
2班：田中允、西村和子、白石卓也、八尋一男、城 健二、坂口勝彦、前田倫宏  
3班：横尾秋洋、上村和男、高原良視、原口政信、宮崎吉弘、赤司祥一、春口茜  
※赤司泰一議長は全会場に出席します。

問い合わせ先：筑紫野市議会事務局 ☎092-929-5399